

6.1 カリキュラムの編成

進捗状況報告

2005年度より、「専門学識コース」と「研究職コース」とを設け、教育体制の改編を行った。「専門学識コース」では理論的体系を身につけるとともに、企業提供科目、インターンシップなどを通じてビジネス界で活躍している方々による授業を通じて理論と実践とを学べるよう工夫をしている。「研究職コース」では前期課程において幅広い分野の学修をおこなうことによる自身の専門性に幅を持たせるよう指導委員会などを通じて指導している。同時に早期に学位が取れるよう決め細やかな指導を指導委員会を通じておこなっている。

学内第三者評価

2005年度のコース開設時の自己点検・評価では（点検・評価の結果）に「現状では科目体系が従来のものであり、・・・体系整備に取り掛かろうとしているところである」としており、（改善の具体的方策）でも「 Semester制の導入により、科目体系が網羅的できめ細かいものになる」としている。この点についての進捗状況の記述が求められる。また、企業提供講座に関しても「他研究科との合同開講等の方策を探り」とあるが、実現しているか。インターンシップ制度はカリキュラムに正式に導入されているか。

なお、特別委員からは以下の意見があった。
・企業提供講座の扱い、インターンシップ制度を研究科のカリキュラムに組み入れる取組は具体的にどこまで進んでいるか不明である。